

Sugiyama

# 災害（地震）対応マニュアル

学 生 用

相山女学園大学

# はじめに

このマニュアルは、震度5弱以上の地震を想定してつくられています。

震度5弱以上の地震が発生したとき、あなたが身を守り、発生後数時間の混乱を乗り越えるまでの対応指標となるものです。

気象庁の震度階級は「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級となっています。

## 震度と揺れ等の状況(概要)

<p><b>0</b> [震度0] 人は揺れを感じない。</p>	<p><b>1</b> [震度1] 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p><b>2</b> [震度2] 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p><b>3</b> [震度3] 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p><b>4</b> [震度4] ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</p>	<p><b>5弱</b> [震度5弱] ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</p>	<p><b>6弱</b> [震度6弱] ● 立てることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>	<p><b>6強</b> [震度6強] ● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</p>
<p><b>5強</b> [震度5強] ● 物につかまらなると歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>	<p><b>7</b> [震度7] ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</p>		

出典：気象庁ホームページ ([気象庁震度階級の解説](#))

震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがあり、震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせや速度規制等が行われる場合があり、通常の学生生活を送ることが困難になる恐れがあります。

まずは、

- 自分の身は自分で守ることを心がけましょう。
- 非常に備え、飲料用水や非常食、履きなれた歩きやすい靴を自分のロッカーに入れておきましょう。

## 地震発生時

### ①身の安全を確保しましょう

- 机の下に身を隠してください。
- バッグ・衣類などで頭を覆ってください。
- テレビ・照明器具・自販機・ガラス窓・ブロック塀などから離れてください。
- ガラス・蛍光灯など落下物に注意してください。
- ドア付近の人はドアを開け避難口を確保してください。
- 火を使っているときは火を消してください。
- 薬品などに注意してください。
- 靴を脱がないでください。

### グラッときたら まず身の安全

大きな揺れを感じたら、**まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見てください。**



### 窓やドアを開け 出口を確保

大きな揺れがおさまったときに避難できるよう**出口を確保してください。**



### ブロック塀やガラス窓には近寄らない

屋外で揺れを感じたら、**ブロック塀やガラス窓から離れてください。**



### 避難するとき足下に注意

屋内で転倒・落下した机・蛍光灯やガラスの破片などに**注意してください。**



# 地震発生直後

## 《大学にいる場合》

本学は緊急地震速報システムを導入しており、推定震度5弱以上の地震発生時に放送設備と連動し、学内に自動的に緊急放送が流れます。

また、各学部に「緊急警報放送受信機」を設置しています。震度5弱以上と予測された大規模地震の警戒警報等を受信し、いち早く地震を告知し、その後は、安全に避難できるよう学内放送により誘導します。

### ①学内放送と教職員の指示に従いましょう

- 指示に従い安全な場所に避難してください。
- 教職員が避難者の名前を確認するので協力してください。
- 逃げ遅れた人がいる場合は、教職員にすぐ連絡してください。
- 負傷者の応急手当に協力してください。
- 初期消火に協力してください。
- 帰宅するときは教職員に届け出てください。

### ②大学が指定する避難場所で待機しましょう

- 大学ではあらかじめ以下の場所を避難場所としていますが、状況によっては、より安全な場所に避難してください。

キャンパス	一時避難場所	広域避難場所
星が丘キャンパス	生活科学部棟前プラザ 現代マネジメント学部玄関前 クリプトメリア館前 キャンパスヤード	菊里高校グラウンド
日進キャンパス	多目的グラウンド	多目的グラウンド
学生寮	西一社中央公園	千種高校グラウンド

### ③協力し合って、救出・救護にあたりましょう

倒壊建物や転倒書棚などの下敷きになった人があれば、教職員が駆け付けるまでの間、近隣皆さんが協力して応急的に救出や救護にあたりましょう。

#### \*帰宅困難者への対応

- 帰宅が困難となった場合は、教職員の指示に従い、安全な建物内に避難してください。
- 大学では、非常食等(パン、ライス、缶詰、クラッカー、飲料水等)を備蓄していますので、帰宅困難者に提供することができます。



## 《大学以外にいる場合》

### ①自宅(実家)にいる場合は、安全な場所に避難しましょう

- 大学に何らかの方法で速やかに安否を連絡してください。  
連絡時には、学年、学部・学科、学籍番号、氏名を告げて下さい。

### ②マンション等にいる場合は、親など家族に所在を知らせ、安全な場所に避難しましょう

- 大学に何らかの方法で速やかに安否を連絡してください。  
連絡時には、学年、学部・学科、学籍番号、氏名を告げて下さい。
- 災害伝言ダイヤル「171」を利用することもできます。

### ③登校・下校途中の場合は、直ちに帰宅するなど適切な行動を取りましょう

- 親など家族に居場所を知らせ、安全な場所に避難してください。
- 災害伝言ダイヤル「171」を利用することもできます。
- 帰宅又は安全な場所に避難したら大学に何らかの方法で安否を連絡してください。  
連絡時には、学年、学部・学科、学籍番号、氏名を告げて下さい。

## 南海トラフ地震に関する情報

南海トラフ地震臨時情報発出時の対応は下記のとおりです。正しい情報を得て、適切な行動をとりましょう。

南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表された場合	・原則として通常どおりの教育活動を行うとともに、次の対応に備えて情報収集を行います。
南海トラフ地震臨時情報（調査終了）が発表された場合	・通常どおりの教育活動を行います。
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された場合	・原則として通常どおりの教育活動を行います。 ・ただし、自治体からの指示・社会状況等に応じて、休講とする場合があります。
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合	・原則として通常どおりの教育活動を行います。 ・授業等の終了後は、安全が確認された学生から速やかに帰宅させます。 ・校外活動については、出発前の場合は延期（中止）し、活動中の場合は速やかに帰校させます。 ・ただし、自治体からの指示・社会状況等に応じて、休講とする場合があります。
<対応例（大学）>	
活動内容	対応
学校での教育活動（授業・試験等）	通常
教育実習・臨地実習・キャリア形成実習等	通常（実習先の対応による）
クラブ活動	中止
施設使用（学会・イベント）	通常
入試	通常

## 安否の確認・連絡

### 《大学にいる場合》

①教職員が行う避難者の名前確認に協力してください



### 《大学以外にいる場合》

①地震発生後、以下の方法で安否を知らせてください

- 安否確認フォームを利用して報告  
インターネットが使用可能な場合、大学のホームページまたはS\*mapで安否報告のフォームを用意します。これを利用して大学に安否を報告してください。
- 電話を利用して報告  
災害後は、つながらない場合が多くなりますので注意してください。  
※ 連絡先：星が丘キャンパス 052-781-1186  
日進キャンパス 0561-74-1186
- 災害用伝言ダイヤルを利用して報告  
自宅が被災地に指定され、災害用伝言ダイヤルが開設された場合には、大学からも安否確認ができるよう、次の方法で伝言を録音してください。  
※ 利用できる電話は、一般加入電話、公衆電話、ひかり電話、携帯電話、PHSです。



171 → 1 (録音) → 自宅電話番号を市外局番からダイヤル

□□□ - □□□ - □□□□ → メッセージ

## 日ごろからの心構え

①災害時に冷静な判断ができるよう、普段からあらゆる場面を想定しておきましょう

②避難路・避難場所・避難具・消火器・AEDを確認しておきましょう

- 教室、図書館、大学会館、クラブ活動中、通学途中、などで。



③帰宅経路を確認しておきましょう

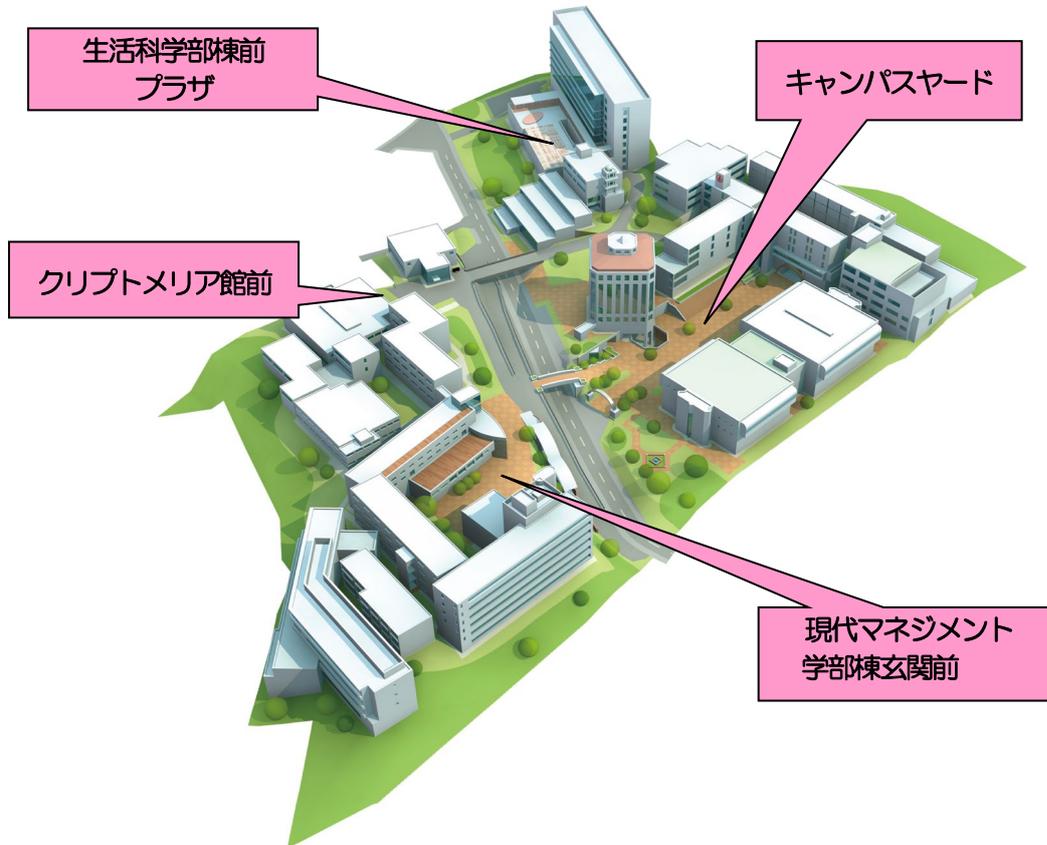
- 南海トラフ地震に関する情報（臨時）が発表された場合や大地震発生の場合、公共交通機関は運転中止となる場合があります。概ね、大学から10km以内の場合は、自宅や家族との集合場所までの経路や、経路途中のコンビニ、トイレの場所等を確認しておいてください。

④自宅(実家)への連絡方法や家族との集合場所を確認しておきましょう

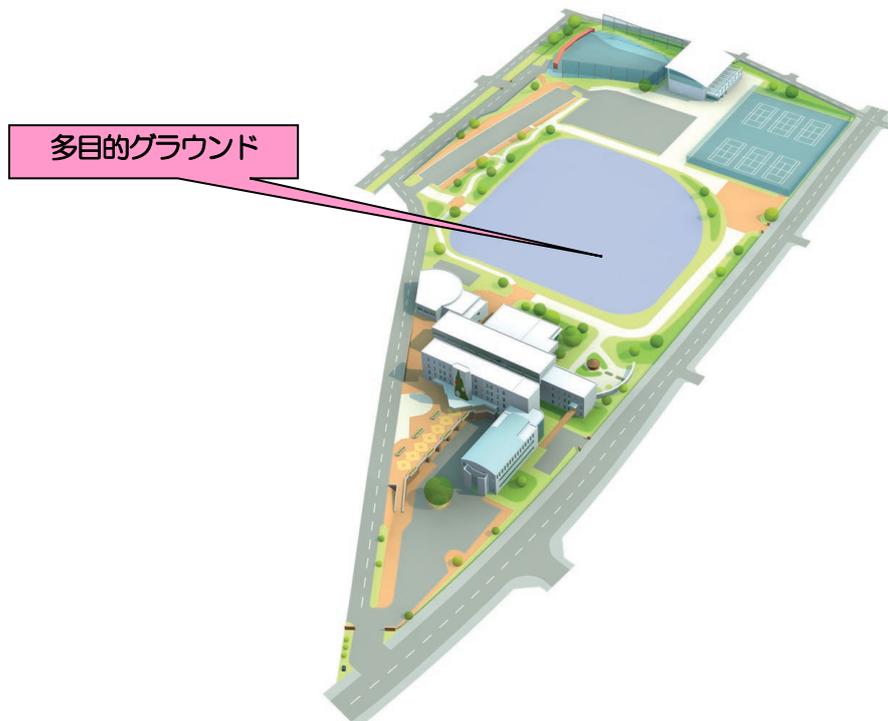
- 携帯電話、PC、災害用伝言ダイヤルなど、確認しておいてください。

## 地図（一時避難場所）

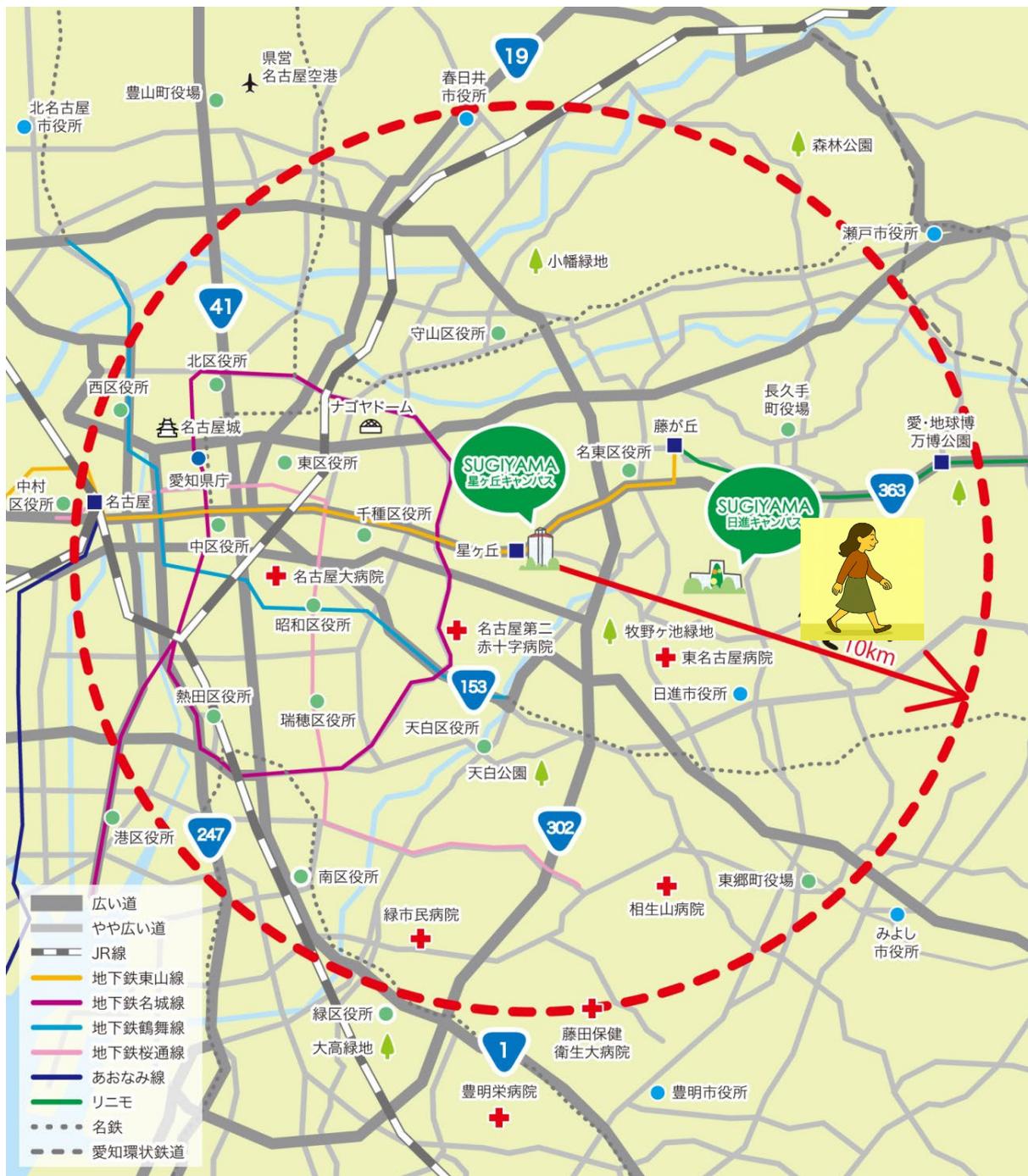
### 1. 星が丘キャンパス



### 2. 日進キャンパス



椋山女学園大学から概ね10kmの範囲



「災害（地震）対応マニュアル（学生用）」  
Ver.20260301

発行日 2026年3月1日

編集発行 椋山女学園大学 学務部  
名古屋市千種区星が丘元町17番3号  
TEL 052-781-1186（代表）